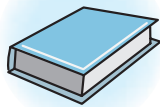


人権教育  
ともに生きる 124  
〈カッコいい学生さん〉

今年の4月27日、佐賀駅の改札口での出来ごとでした。  
その日、私は「JR通学生のマナーを考える会」唐津線乗車のため、教育委員会のAさんと、改札口近くに立っていました。電車が入ってきたのでしようかプラットホームから改札口へと乗客がどっと吐き出され、混雑してしました。しばらくして、辺りに人がまばらになったころ、Aさんがにこにこ微笑んでいました。「何かありましたか」と尋ねたら、「今、あのお婆さんが、男子高校生にお金を渡そうとしたが、高校生は断っていました。」と言って、ますます顔をほころばせて、「高校生が、お婆さ

んの荷物を運んでくれたお礼に、お小遣いを渡そうとしたが、受け取らなかった」とのことでした。  
私は「どこ、どこ」と言いながら、Aさんの指差す方に目をやりました。そこには、もう、高校生の姿は見えず、三つの大きな荷物を抱えたお婆さんの後姿があるだけでした。私も、荷物を持ってあげたい気分になりました。  
若者の中には、老人をいたわる心が薄らいできているのではないかと言われている今日、上記のような光景を見聞きしたわたしは、ほのぼのとした温かさを感じる気分になります。中島弘之



図書館へ出かけよう。

【休館日】8 / 6(月)13(月)20(月)27(月) 今月31日(金)は開館します  
18日(土)は、おはなしキャラバンの日 場所:多久公民館 時間:あさ10時~11時

話題の新刊 おすすめの本



秘花

瀬戸内 寂聴 作

能の大成者・世阿弥が佐渡へ流されたのは、72歳の時だった。それから80を過ぎるまでの歳月の中、逆境を受け止め、老いと向き合い、そして死を迎えた世阿弥の波瀾の生涯を描く。

河童

たかし よいち 作

川のあるところに河童あり。九千坊という河童の大将が、999匹の河童を引きつれて、天では天狗を、地では偉い長者どんを、海では竜を相手に大活躍。この物語では河童を「がわっば」という。



ぼくの鳥の巣探検

鈴木 まもる 作

自分の家の周りに、意外と身近に鳥の巣があるということを発見した作者は、鳥の巣を求めて旅に出る。鳥の巣との出会いは、大いなる自然の営みを感じ、考えさせられるものでもあった。

新着図書を紹介

- |      |                  |            |
|------|------------------|------------|
| 成人向き | ◆メタボラ            | (桐野 夏生)    |
|      | ◆臍の緒は妙薬          | (河野 多恵子)   |
|      | ◆ちんぷんかん          | (畠中 恵)     |
|      | ◆父親力検定           | (石原 壮一郎)   |
| 児童向き | ◆日本型環境保全の源流      | (農文協)      |
|      | ◆おとうさん・パパ・おとうちゃん | (みやにし たつや) |
|      | ◆おたねさん           | (竹内 通雅)    |
|      | ◆ぼくのひよこ          | (高部 晴市)    |
|      | ◆アフガン山の学校の子どもたち  | (長倉 洋海)    |
|      | ◆中国の故事民話         | (沢山 晴三郎)   |



螢火に忘れかね、るし人想ふ  
不二見恵美子  
道しるべ片葉の芦は徐福路  
大坪 豪仁  
高原に癒やし香りラベンダー  
松尾 弧枝  
額の花火火の如く咲きにけり  
野田キヌ子  
遠河鹿山の夕暮ひきよせて  
納富 芦風

《楷樹句会 楷樹句会互選》

菫草だけは残して草むしる  
亡き姑と同じ年頃となり  
小池千恵子  
ラテン音楽しつこく夜の家巡る  
酔夢さむればテレビの画面  
尾形 節子  
病室へ着替え持ち来る夫の眼は  
早よう帰れと目が物を言う  
福島那智子  
朗ろうと心にひびく吟詠を  
碑の前に収めて歌友はみまかる  
迎 寿代  
砂利白き護国社にそれぞれに  
朝を掃きゆく人の静けさ  
栗原 瑛子

市民文芸

《夏の茅短歌会 多久夏の茅互選》

